

【ACKG 3年後売上高420億 保全、防災の割合拡大】

3年後売上高420億 保全、防災の割合拡大

ACKG

ACKグループは、2015年9月期から17年9月期までの3カ年の目標を明らかにした。14年9月期の売上高348億円に対し、17年9月期は、420億円を目指す。目標達成のため、インフラ保全

・運営管理、防災、地域活性化などの重点化事業を、前期の1・2倍となる受注高全体の約5割に拡大する。

人材の確保・育成にも注力し、社員数1760人（14年9月期）を2030人、女性

社員334人を394人、グローバル人材268人を378人、女性管理職13人を23人などに増やす。また、期首時点（14年10月）で、インフラ保全・運営管理が18件、海外新規開拓が12件、防災が11件、交通（高度化・総合化）が9件など69件以上の重点化プロジェクトを活動している。重点化事業に対して、今後3年間で15億円を投資する。

このほか、ACKグループがオリエンタルコンサルタンスの海外事業部門を分社化・独立させ、10月から事業開始したオリエンタルコンサルタンスグループについて、野崎秀則社長は「体制が整っており、受注の拡大が表れている」としながら、今後は「現地や民間の案件をどのように獲得するかが重要なテーマだ」と述べた。